平成30年12月１日発行（毎月１回１日発行）通巻第652号

林業福島

No. 652

題字　公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長　齋藤卓夫

12 2018

監　　修■福島県農林水産部
表紙の写真■巨　木　伐　採

森の恵みの収穫祭

公益財団法人ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団
理事長　菊　池　壯　藏

第一回ふくしま植樹祭も、天気に恵まれ盛大に、かつ成功裏に行われました。準備されたスタッフの皆様の並々ならぬ努力に感謝したいと思います。

わたくしが式典の中で耳にして印象に残った言葉は、伐採による森林の世代的繋がりに関するものでした。全国植樹祭が始まったのは、戦後間もなくの一九五〇年。戦争によって荒廃した国土を緑で復活させるべく、国土緑化運動の一環として始まったとされます。そして、その二五年後の一九七七年に、森林を継続的に守り育てる意識を普及啓発することを目的に全国育樹祭が始まるわけです。全国植樹祭が六九回を迎えたということは、その頃に植林された樹々がすでに伐採時期を迎えているということに他なりません。今まさに、植樹、育樹の次の課題、つまり活樹または「森の収穫祭」も必要なのではないか、そういう思いを抱いたのです。森林の恵みをヒトが享受すること、分かち合うことができること、それこそが世代を越えて国土の森を再生可能な状態に保ち続ける。その条件なのだと思ったのです。ただ、それは当座の「思いつき」にすぎません。植樹祭や育樹祭に匹敵・対応するようなイベントや運動が、それほど易々とできるものではないという事情、それも引き続いて頭に浮かんできます。なぜならば、森林は単純な木材生産場と言い切れないからです。

一時期、我が国農業の「近代的経営」への転身が強く叫ばれておりました。食糧も貨幣によって購入される数ある商品のひとつに過ぎない、という発想がそこに垣間見られます。とすればいかに「売れる商品作物」を大量に作るかという側面での「合理化」が「限りなく」進行します。現に、アメリカを始めとする多国籍食糧企業（ＦＯＯＤ　ＩＮＣ.）の実態を見れば、食の世界市場シェアを拡大するために手段を選ばない様子がわかります。あらゆる化学的・遺伝子学的技術が「商品としての食糧」生産に投入されてきました。むろん、それによって人類はこれまでに経験したことのないほど「安価に」食糧を入手できるようにはなりました。すでに「先進国」では飢餓ではなく飽食と肥満の方が大きな社会問題の一つになっているほどです。しかし他方では、その効率性を求めた大規模生産システムが、地下水の枯渇や地盤沈下、塩害、表土流失による砂漠化などの環境破壊すらもたらしていることも知られています。米国からの周到な食糧・飼料の輸出圧力に対し、我が国の農林水産省は、「農業・農村の有する多面的機能」という視点を対置するようになりました。単純に「工業生産」と同等の商品・製品製造の場とは違うのだという考え方です。同様に、森林は単なる木材供給場ではなかったわけで、かつて国有林の管理・運営（造林・営林）を目的とした営林署が森林管理署と名前を変えたのも、そうした森林の多面性を意識してのことと思われます。森林からヒトへの恵みはとてつもなく幅が広いのです。

森林からの多面的恵みを、次世代・次々世代に至るまで多面的に享受し続けるために、今何をなすべきか。分野を越えた多方面同時作戦がどうしても必要なのだ、と思うのです。

《もくじ》

とびら
森の恵みの収穫祭
公益財団法人ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団
理事長　菊　池　壯　藏……1
ふくしま植樹祭開催……2
第43回福島県林業祭を開催しました……3～4
平成30年度福島県林業コンクール……5
第15回ふくしま森林・林業写真コンクール…5
第69回福島県学校関係緑化コンクール……6
第21回福島県森林組合連合会良質材展示会……6
平成30年度福島県きのこ品評会……7
普及指導員通信……8
森連だより……9
苗協だより……10
木に触れて豊かな心を育む「木育」⑨……11
木材市況・ふくしま東西南北……12
はなしのひろば・お知らせコーナー……13

ふくしま植樹祭開催

ふくしま植樹祭実行委員会

平成三〇年十一月四日(日)、第一回ふくしま植樹祭を、南相馬市鹿島区北海老地内において、第六回南相馬市鎮魂復興市民植樹祭と共同で開催しました。

参加者全員による記念撮影

「ふくしま植樹祭」は、今年六月十日(日)に開催された第六九回全国植樹祭ふくしま２０１８の開催理念を引継ぎ、「未来へつなぐ希望の森林づくり」をコンセプトに、希薄となった森林と人との絆の回復や、県民参加の森林づくりの更なる発展、復興に向けて歩み続ける福島の姿を実感していただくとともに、未来を担う子ども達へ美しいふるさとを継承するため、引き続き多くの方々との植樹活動の輪を広げていくことといたしました。

開催当日は、朝から雲一つ無い、風も穏やかな好天に恵まれ、この時期としては、絶好の植樹日和となり、県内外から三、〇〇〇名を超えるご参加をいただきました。

始めに東日本大震災の津波で犠牲になられた方々のご冥福をお祈りする黙祷を行い、開会式においては、大会会長の内堀雅雄福島県知事、特別顧問の市川海老蔵氏、実行委員長の齋藤卓夫氏、南相馬市の門馬和夫市長、二〇一八年ミス日本みどりの女神の竹川智世さん、二〇一七年ミス日本みどりの女神の野中葵さんの六名が登壇し挨拶等をいただき、地元大甕みどりの少年団の介添えによる記念植樹の後、参加者全員による記念撮影を行いました。

本番の植樹活動は、海岸防災林の主林木となるクロマツやスダジイなどの広葉樹の苗木約二七、〇〇〇本を福島の未来に思い込めて汗を流し植栽することができました。

また、式典広場においては、豚汁のふるまいや、企業や団体様のご協力により、子ども達による木工や丸太切りなどの体験コーナーの設置、観光ＰＲや特産物の販売、おにぎりや飲料水の配布をさせていただくことができました。

ふくしま植樹祭開催に向けて、ご尽力いただきました関係者の皆様に心から感謝申し上げますとともに、これからも「続ける」、「広げる」、「繋げる」を基本に、多くの方々に参加していただける大会となるよう取り組んでまいります。

緑の少年団の植樹活動

第四三回福島県林業祭を開催しました

福島県林業祭実行委員会

チェーンソー選手権（合わせ玉伐り）

開会式

「林業担い手の主張」

別表１　福島県チェーンソー選手権結果

	総　合	種　目　別			
		合わせ玉伐り	精密玉伐り	玉伐りスピードトライアル	
1位	但野勝久	秋山健人	但野勝久	髙橋真也	
	相馬地方森林組合	東白川郡森林組合	相馬地方森林組合	相馬地方森林組合	
2位	松本公浩	但野勝久	中野孝一	松本公浩	
	相馬地方森林組合	相馬地方森林組合	いわき市森林組合	相馬地方森林組合	
3位	髙橋真也	近藤重昭	松本公浩	近藤重昭	秋山健人
	相馬地方森林組合	いわき市森林組合	相馬地方森林組合	いわき市森林組合	東白川郡森林組合

第四三回福島県林業祭を、十月二〇日、二一日の二日間に渡り、郡山市の福島県林業研究センターにおいて開催し、約七、〇〇〇名の方にご来場いただきました。

二〇日十時より、本館前において開会式を行いました。飯沼隆宏福島県林業祭実行委員会副委員長のあいさつに続いて、星公正福島県議会農林水産委員会委員長らがテープカットを行い、新地町からお越しいただいた鹿狼アルプホルン倶楽部のファンファーレが華を添えました。

本館前では、開会式に引き続き、鹿狼アルプホルン倶楽部の「森のコンサート」が行われ、二日目には、福島県や東京都を中心に活動されているバイオリニスト加藤菜々子さんによる演奏が観客の皆さんを魅了していました。県産材の家をＰＲする「模擬上棟式」は、二日間で四回行われ、模擬上棟式を体験する楽しい声が響き渡りました。また、二一日には「森のオークション」や「林業担い手の主張」も開催されました。

「森のオークション」では、二〇日に開催された「チェーンソーアートショー」にて作成されたチェーンソーアート作品をはじめ、県内各地より持ち寄られた品が、次々と元気なかけ声で競り落とされました。

昨年から始まった「林業担い手の主張」では、県内五名の林業担い手の方が森林・林業に対する思いを来場者に向けて発表しました。林業事業体職員から特用林産物の振興に携わる職員まで、多岐にわたる林業担い手の思いを、来場者の方に感じていただけました。

多目的広場には、木の枝クラフト、いす作り、竹細工体験、木製ボールペンづくりなどの工作体験や、今回初めて、木を使ったゲーム「クッブ」やハーベスタシミュレータの体験コーナーが設けられました。今年六月十日に開催された「第六九回全国植樹祭」のＰＲブースにも、大勢の方にお越しいただきました。また、「平成三〇年度福島県チェーンソー選手権」が開催され、県内から二七名が参加し、安全はもちろん、速さや正確さを競い合いました。

（結果詳細：別表１）

木の箸づくり体験

木を使ったゲーム「クッブ」

編み組細工の実演・体験

模擬上棟式

本館前通路では、ライシーホワイトとのお米計量ゲーム、農林水産物や六次化商品、木工品、漆器等の展示・販売が行われました。また、昔懐かしい竹馬や竹ぽっくり、積み木のプールなどの木や竹でできたおもちゃや、木の箸づくり、林業担い手の服装と、子どもから大人まで皆さんが喜んで様々な体験をしていました。

展示館西側広場では、「チェーンソーアートショー」が二〇日に二回行われ、丸太から生み出される動物たちの大胆で繊細な造形に観客が見入っていました。

北門からの通路脇では、ツリークライミング®体験も昨年に引き続き行われました。

研修本館では、震災からの様々な復興活動や調査結果、木材やきのこの安全・安心の取り組み、林業就業相談会や、松ぼっくり工作、林業研究センターの研究成果ポスター発表、二一日には「編み組細工実演・体験」が行われました。また、語りと方言の会による「森の昔話」や、「きのこ品評会」の出品物販売ときのこ料理の試食会も行われ、大変好評でした。

研修本館前では、県産きのこ、木工品、農産物、林業機械、ペレットストーブなどの展示販売コーナーを設けました。

ホテルバーデン吉祥の間においては、二〇日に「平成三〇年度福島県林業コンクール等表彰式」及び「森林・林業フォーラム」を開催しました。表彰式では、林業コンクール、きのこ品評会等、七一件が表彰されました。（受賞内容は、各コンクールの紹介ページを参照ください。）

「森林・林業フォーラム」では、『森林と水と人のつながり～今を生きる私たちにできること～』と題した、林業アーティスト鳥居由佳氏の講演を約一二〇名の方々が熱心に聴講するとともに、講演者に多くの質問が寄せられていました。

出展者、出演者など皆様のご協力により、二日間無事に実施することができました。今後も森林・林業関係者が一体となり、森林・林業・木材産業の魅力発信と活性化に向け、活動を継続してまいります。

平成三〇年度

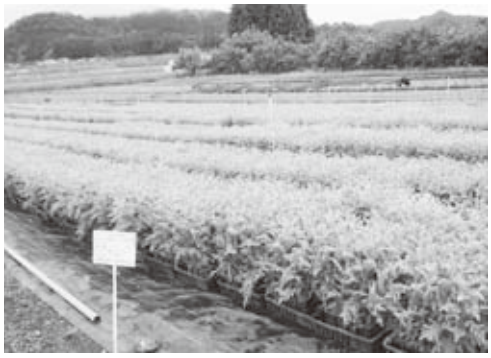
福島県林業コンクール

福島県林業振興課

福島県林業コンクールは、林業技術の向上と林業経営の改善を図り、本県林業の発展を推進することを目的として開催しています。

今年度は、十一件の応募があり、林業振興課職員等による現地審査の後、九月十一日に森林・林業関係団体等の代表者からなる審査委員会を開催し、各賞を決定しました。

森林の状況が保育期から利用期に移ってきていることから、特に間伐部門における出品数が増えています。林業コンクールについても時代の要請に応えられるよう見直しを図りながら林業経営者の方々に奮起していただけるきっかけとなるよう、これからも開催してまいります。



山林苗畑部門県知事賞の苗畑

部門別表彰者

一　山林苗畑部門

福島県知事賞　福田　三郎

福島県農林種苗農業協同組合長賞　川上　敦史

二　造林部門

福島県知事賞　遠藤　幸重

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会長賞　山中　一作

三　間伐部門

福島県知事賞　前田　栄

福島県木材協同組合連合会長賞　中寺区区長　大竹　幹夫

福島県森林組合連合会代表理事会長賞　小野　一男

福島県林業経営者協会長賞　粂井　一博

農林中央金庫福島支店長賞　鈴木　省吾

第十五回

ふくしま森林・林業写真コンクール

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会

ふくしま森林・林業写真コンクールは、森林の大切さとそれを支える林業の重要性を県内外に広く発信することを目的に、毎年度開催しています。

本年度の応募人数は四三人、応募作品数は八〇点と多数の応募があり、十月四日、県写真連盟高橋良雄様を審査委員長に、県及び林業団体で構成する審査委員会において厳正に審査し、入賞作品を決定しました。

入賞作品は、林業祭開催期間中会場に展示するとともに、十一月五日(月)から九日(金)には県庁渡り廊下に展示し、写真を通して頑張る林業の姿を広くＰＲしました。

今後は「林業福島」の表紙に適宜掲載してまいります。

第43回福島県林業祭で展示

（最優秀賞、優秀賞及び特別賞の入賞者）

賞の種類		入賞者		
区分	賞名	市町村	氏名	題名
最優秀賞	福島県知事賞	郡山市	小田島守明	炭出し
優秀賞	公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会長賞	福島市	河野　善次	巨木伐採
		福島市	菊地　美雄	親子で植樹
		福島市	相馬　雅俊	雪にも負けず
特別賞	一般財団法人福島県林業会館理事長賞	白河市	近藤　広章	林業のプロ

第六九回

福島県学校関係緑化コンクール

福島県森林保全課

当コンクールは、児童・生徒の緑化活動及び学校における環境教育の一層の推進を図るため、福島県及び福島県教育委員会の共催により毎年開催しています。今年は十四件（学校林等活動の部三件、学校環境緑化の部十件、協力者の部一件）の応募があり、県審査委員会による審査により、表彰者を決定しました。

このうち、最優秀賞（県知事賞）は次のとおりです。

1　学校林等活動の部

・会津若松市立湊小学校

猪苗代湖に流れ込む、水源地の学校林において下刈りや除伐作業に取り組むとともに、河川の生き物調査や猪苗代湖の水質調査を行うなど、森林の役割や森林環境の大切さを学んでいます。

・いわき市立田人中学校

地域の文化を学ぶ「たびと学」の一環である林業体験を通して、地域住民の方々から林業について専門的な知識を学び、自然環境保全の考えを深めるとともに、伐採した木材からコースターを作製する等、木材の循環活用についても学んでいます。

2　学校環境緑化の部

・会津若松市立大戸小学校

「花と緑の大戸小」をキャッチフレーズに、緑の少年団活動を中心に子どもたちが毎朝の花壇の灌水や花の手入れ、樹木とのふれあい等の活動を行い、緑の豊かさ、大切さを学ぶとともに、育てた花を地域の施設へ配るなど、感謝の気持ちを地域へ還元する取組みも行っています。

学校林での活動の様子
（会津若松市立湊小学校）

学校林での活動の様子
（いわき市立田人中学校）

学校環境整備の様子
（会津若松市立大戸小学校）

第二一回

福島県森林組合連合会良質材展示会

福島県森林組合連合会

去る十月十七日、いわき木材流通センター（平成八年開設）において「第二一回福島県森林組合連合会良質材展示会」を開催しました。

この行事は、林野庁、関東森林管理局、福島県、福島県木材協同組合連合会からのご支援をいただき、毎年当センターの記念市と同時に開催しています。育林技術や造材技術の各項目の評価審査に基づいて各賞を決定し、生産技術の改善向上や木材品質の向上、森林組合共販材の優秀性を広く紹介すること、また木材需給の安定に寄与することを目的に開催回数を重ねてまいりました。

審査は十月十一日、当センターにおいて福島県、福島県木材協同組合連合会、買方者代表の方々にご協力いただき、県森連職員を含む計五名が行い、審査項目（表１）に基づき厳正に審査した結果各賞を決定（表２）しました。

展示会を開催し続けてこられましたのも、出荷者、買方者のご協力並びに関係機関のご指導ご協力があってのことと、この場をお借りし改めて感謝申し上げます。

森林組合系統の一木材市場として消費者の皆様に福島県産材を安心してお求めいただけるよう、需給体制の強化に全力で努めてまいりますので、今後も当センターをご利用くださいますようお願いいたします。

（表１）

審査項目	審査対象
育林技術	節の有無・大小
	年齢幅
	材の曲がり
	材の丸み・偏心
	材の光沢・色彩
造材技術	枝はらい
	材の切断面
	延寸
総　合	商品価値・市場性

（表２）

賞　名	受賞者名	住所	樹種	長級（m）	径級（cm）
林野庁長官賞	石嶋商事 石嶋美智男	田村市	スギ	6.00	18－20
福島県知事賞	水野　悦男	古殿町	スギ	3.65	40－42
関東森林管理局長賞	阿部　好春	いわき市	スギ	4.00	40－42
県木材協同組合連合会長賞	ふくしま中央森林組合 石川岩瀬事業所 石川事務所	石川町	スギ	3.65	40－54
県木材協同組合連合会長賞	國生興産有限会社	いわき市	スギ	4.00	40－46
県森林組合連合会長賞	水野林業 水野　峰次	古殿町	スギ	4.00	42
県森林組合連合会長賞	安田林業株式会社	大玉村	スギ	4.00	24－38
県森林組合連合会長賞	有限会社本郷林業	鮫川村	ヒノキ	4.00	14－18

平成三〇年度

福島県きのこ品評会

公益社団法人　福島県森林・林業・緑化協会　きのこ振興センター

十月二〇日(土)、二一日(日)の両日、第四三回福島県林業祭の開催に併せ、「平成三〇年度福島県きのこまつり」を郡山市にある福島県林業研究センターにて開催しました。今年は、天候にも恵まれて、約七、〇〇〇人の来場者がありました。

当きのこまつりは、東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所事故等により、三年間休止となりましたが、平成二六年に震災復興と県産きのこの振興を目的として再開してから、今回で五回目の開催を迎えることができました。

きのこまつりにおいて特に注目されているのが、「福島県きのこ品評会」です。今年は、降水量が少なく、記録的な高温の中、ほだ木や菌床の管理に大変ご苦労されたと思いますが、生産者の方々の努力により、生しいたけ八九点、乾燥しいたけ十三点、なめこ・ひらたけ三七点など、今回も品質の良いきのこが一四一点出品されました。十月十九日(金)に行われた審査会では、最優秀賞として農林水産大臣賞が選定されたほか、林野庁長官賞をはじめとして数々の入賞作品計二四点が選ばれ、翌二〇日、表彰式が行われました。

出品されたきのこは、十月二〇、二一日の両日に展示・販売しましたが、販売した出品物は売り始めから三〇分かからずに完売するなど、大変盛況のうちに幕を閉じることができました。

風評などきのこ産業を取り巻く環境はまだ万全ではありませんが、毎年品評会を楽しみに来場される方も多いので、今後も品評会を開催することで県産きのこの普及・振興に努めて参ります。

平成30年度　きのこ品評会出品数内訳

	生しいたけ		乾しいたけ	なめこ・ひらたけ	参考出品(点)
	原木栽培部門	菌床栽培部門			
出品数	25	64	13	37	2

《受賞者名簿》

●生しいたけの部

農林水産大臣賞(原木栽培部門)　箭内　幸一(田村市)
林野庁長官賞(菌床栽培部門)　大野　一宏(天栄村)

○原木栽培部門

福島県知事賞　國分　進(本宮市)
福島民報社代表取締役社長賞　古川　政善(郡山市)
(公社)福島県森林・林業・緑化協会会長賞
株式会社しもごう農園(下郷町)
全国農業協同組合連合会福島県本部長賞
野尻地区しいたけ生産組合　青木　秀之(昭和村)
福島県きのこ振興協議会会長賞　大橋　茂美(伊達市)

○菌床栽培部門

福島県知事賞　円谷　康夫(泉崎村)
福島民友新聞社代表取締役社長賞
富士ソフト企画株式会社　西会津しいたけファーム(西会津町)
(公社)福島県森林・林業・緑化協会会長賞
農事組合法人愛椎ファミリー(郡山市)
福島県農業協同組合中央会会長賞
有限会社遠藤きのこ園　代表取締役　遠藤　一夫(川内村)
全国農業協同組合連合会福島県本部長賞
芳賀　敏行(中島村)
福島県きのこ振興協議会会長賞　佐治　卓郎(郡山市)

●乾しいたけの部

林野庁長官賞(乾しいたけの部)　鈴木　吉一(磐梯町)
福島県知事賞　福田　正三(石川町)
全国椎茸商業協同組合連合会理事長賞
遠藤　充孝(磐梯町)
(公社)福島県森林・林業・緑化協会会長賞
山田　誠(福島市)
福島県きのこ振興協議会会長賞
農事組合法人いわき菌床椎茸組合(いわき市)

●なめこ・ひらたけの部

林野庁長官賞(なめこ・ひらたけの部)
遠藤　栄久(北塩原村)
福島県知事賞　田崎　眞平(西会津町)
日本特用林産振興会会長賞
桐の里産業株式会社(三島町)
(公社)福島県森林・林業・緑化協会会長賞
有限会社鈴木農園(郡山市)
福島県森林組合連合会代表理事会長賞
有限会社すずき農園(いわき市)
福島県きのこ振興協議会会長賞
本田　隆(川俣町)

敬称略

農林水産大臣賞

展示・販売会場の様子

君は山の中に道を描けるか！

福島県県南農林事務所
林業普及指導員　小　澤　　創

１　はじめに

林内路網は森林整備のためのインフラであり、森林の適正な管理のため必須な要素です。そのため、現在、重点的に実施しているふくしま森林再生事業では、森林整備と作業道整備はセットで計画、実施されています。

森林整備を計画、実施するにあたり、市町村や委託業者と打合せを行う際に必要な視点が２つあります。一つはどの森林を森林整備するかという「森を見る目」です。もう一つはどこに作業道を作るかという「道づくりの目」です。

路網整備担当の林業普及指導員として、ふくしま森林再生事業の計画打合せに関わる中で、市町村を含め事務所職員が「森を見る目」は持っていても、「道づくりの目」に弱い部分があると感じることがあります。

そこで、路網整備を推進するにあたり、「道づくりの目」を持つための取組について、当事務所の事例を紹介します。

２　県行造林地での線形の検討

県行造林地において、ふくしま森林再生事業による森林整備計画箇所で既設作業道が崩落し、既設作業道を復旧しないと森林整備が行えない現場がありました。崩落箇所付近は急傾斜であることから、構造物を設置しない限り復旧はできないと判断し、新たに崩落箇所を迂回する作業道を計画することになりました。

現場は急傾斜とはいえ、簡易な測量設計技術で十分に検討できると判断し、研修の意味も含め、森林土木課と林業課が合同で、現地での線形の検討を行い、職員自らが測量設計も行いました。道づくりで重要な「縦断勾配」、「土工量」を推定する目を養うため、現地にてポール横断、True pulseによる方位角及び地盤高の計測を行い、測量データを用いた図化作業（平面図、縦断図、横断図）を経て、土量計算まで行いました。

線形検討の様子１

３　線形検討後の確認作業

この現地調査で作成した手書きの図面は、平成30年度の森林整備事業の設計書に活用され、設計図どおりに作業道が完成し、間伐施業により収穫した木材が当作業道を利用して搬出されました。作成した図面が形になったため、「道づくりの目」を養うための第一歩としては効果があったと思います。

今後、作業道を施工し、木材を搬出した委託業者と、施工性や走行性について意見交換を行い、路網の検証を行う予定です。

線形検討の様子２

４　おわりに

新採時に多くの林道事業の現場に携わり、高い能力を持った森林土木技術者に囲まれていた身として、近年、「道づくりの目」を持つ職員が少なくなっているように感じる中、ふくしま森林再生事業に携わる市町村職員も含め、道づくりの目を養うために道づくりの考え方や測量設計等の研修を積極的に実施していきたいと考えています。

森連だより

無人航空機活用講習会を開催

福島県森林組合連合会

最近は、無人航空機（ＵＡＶ）という言葉も一般的となり、土木分野などでは無人航空機を用いた施工管理や公共測量についての指針が示されています。また、農業分野では、人工知能と組み合わせ効率的な施肥の実施など、実証段階から実務での活用へと移行しつつあります。

当会でも試験的に無人航空機を導入し、業務での活用を検討してきました。また、各森林組合からも無人航空機に関する様々な問合せを頂くことが多く、関心の高さがうかがえます。

しかし、話を聞いていると航空法に対する認識が不十分であったり、飛行に資格が必要であると思っていたりなど誤った認識をしている場合もありました。

そこで、当会のこれまでの取組を基に、平成三〇年十月二二日に郡山市森林組合を会場として、県内森林組合を対象にした無人航空機に関する知識の向上と、業務での活用方法の検討を目的に講習会を開催したので紹介します。

講習会では、まず無人航空機の基本的な運用上のルールとして、航空法の制限について紹介しました。航空法では、原則的に無人航空機を目視内で飛行させなければならないほか、飛行可能高度も地上高一五〇㍍までとなっています。こうした制限を考慮すると、山間部での運用は実務上不可能と思われがちですが、手続きを踏むことで制限を受けずに飛行させることが可能となります。そのために必要となる事項や申請書類等の講習を行ったほか、当会での活用事例として、撮影画像を活用したＧＩＳでの運用を紹介しました。

次に、実際に無人航空機の飛行デモンストレーションを実施しました。無人航空機は自立飛行が可能で、操縦装置から手を離してもその場でホバリングし、操縦が不能となった場合でも離陸場所へ自動で帰還するなど、飛行の安定性や操縦の容易さを確認してもらえたと思います。

現在、森林・林業分野での無人航空機の活用については、全国の林業関係者や研究機関でも検討されていますが、無人航空機単体で仕事が完結する段階には至っていないと言われています。講習会では、業務での活用について意見交換を行いましたが、航空写真や動画のみでは業務での活用には十分と言えず、画像処理ソフトや小型レーダーなどと組み合わせることで活用の幅が広がりますが、費用対効果を考慮すると導入には至らないというのが実感でした。

今後も様々な活用の可能性を検証していきたいと思いますので、意見がございましたら是非をお聞かせください。また、実際に事業で活用してみたいなどの要望もお気軽にお声がけください。

講義風景

デモンストレーション風景

苗協だより

「造林用苗づくりは露地ですかコンテナですか」アンケート調査結果

福島県農林種苗農業協同組合

コンテナ苗生産への検討は、平成22年から各県で実施され、植栽時期の自由度が高いことから、その需要は年々増えてきています。

しかし、各県の生産本数等の情報が少なく、裸苗づくりからコンテナ苗づくりへの移行の方向について検討するため、全国の苗協を対象にアンケート調査を実施しました。

回答を頂いた14苗協の結果をとりまとめましたので、紹介いたします。

問－１　平成30年産造林用スギ生産本数について、記入してください。
露地栽培　　本　　コンテナ栽培　　本

回答　露地栽培232万本　　コンテナ栽培264万本　　計496万本
コンテナ栽培本数が53％と露地からコンテナに移行してきている。

問－２　使用しているコンテナの規格について、記入してください。
・100cc　・150cc　・250cc　・300cc　・その他

回答　・100と250cc（０個）　・150cc（32万個）　・300cc（23万個）
・その他（23万個）
100ccと250ccは０％、150ccが41％、300ccが29％、その他が20％と山側は、重くない150ccで育苗した苗を求めている。

問－３　コンテナに植え付ける方法について、記入してください。
・コンテナに直接播種　・幼苗をコンテナに移植する

回答　・コンテナに直接播種（３苗協）
・幼苗をコンテナに移植する（11苗協）
多くは、幼苗（１年生）をコンテナに移植している。

問－４　コンテナ苗の梱包方法について、記入してください。
・段ボール　・ネット　・その他

回答　・段ボール（３苗協）　・ネット（11苗協）　・その他（ムシロ・土のう袋）
全て段ボール使用は２苗協、全てネット使用は５苗協である。

問－５　段ボールやネット１梱包の数量を記入してください。
・段ボール　・ネット　・その他

回答　・段ボール（150cc100～150本、８～10kg・300cc64～100本、未回答）
・ネ ッ ト（150cc40～60本、６～10kg・300cc40～50本、10～15kg）
本数、重さに開きがあり運搬費の算出には、統一が必要と思われる。

コンテナ苗の研修会

問－６　コンテナ苗を納品する１回あたりの本数について、記入してください。（複数回答可）
・3,000本未満　・5,000本前後　・10,000本前後　・10,000本以上

回答　・４割が3,000本未満（６苗協）、５割が5,000本前後（７苗協）
・２割が10,000本前後（３苗協）、２割が10,000本以上（１県苗協）
１回あたりの納品本数は、5,000本前後が多かった。

問－７　コンテナ苗の引き渡しについて、記入してください。
・原則苗畑引渡　・運搬費を頂き植栽現地引渡　・その他

回答　・原則苗畑引渡（４苗協）　・運搬費を頂き植栽現地引渡（８苗協）
回答12苗協の内４苗協は、苗畑引渡を原則としていた。

裸苗の研修会

今回のアンケート調査を実施した結果、コンテナ苗は、活着が良く、植栽時期の自由度が高い、露地栽培より短期間で生産できるなどのメリットがあることから、コンテナ苗の生産が増加するものと思われます。

一方、コンテナ苗の根鉢サイズ、使用する種類、苗木を造林地へ運搬してからの管理の注意点等、どうすれば良いか課題があることが解りました。

今後は、コンテナ苗に関する苗畑から植栽するまでの「指針等」の整備が望まれます。

木に触れて豊かな心を育む「木育」⑨

株式会社マストロ・ジェッペット（南会津町）

林業福島事務局

○はじめに

株式会社マストロ・ジェッペット（以下「会社」という。）は、ピノキオを作った木工職人（ゼペットじいさん）のように、愛情込めて作ることで、ピノキオ（木製人形）は命をやどし、元気で素直な子どもに成長したという由来に思いを込めて社名とし、平成二二年に設立されました。

会社には、南会津町の製材業や木工製造業者など川上から川下までの「木」に関わるプロフェッショナルが集まっていて、子ども達が手に取り楽しく遊んでもらえるよう、デザインにこだわり、林業や木工業が盛んな南会津の技術を活用して、一つ一つ愛情を込めて作られた安全で高品質な木製玩具を製造・販売しています。

ショールーム

○安全な木製玩具の製造

木のおもちゃは、主に部品の大きさと強度、塗料に対する安全確保を図る必要がありますが、会社のおもちゃはＥＵ（欧州連合）で販売される安全基準制度に適合していることを証明するＣＥマークを取得しています。

また、会社では、生産・加工から流通に至る各工程で、認証材の使用に適切な管理システムを採用していることで統合ＣｏＣ管理事業体として認証（(一社)日本森林技術協会）を受けています。

○高品質な木製玩具の製造

会社では、商品開発のときに、木が持つ「温もり、手触り、色、重さ、香、音」の特徴を生かせる材料を選んでいます。

また、木製玩具をデザインする際は、地域の歴史や役割を最大限引き出すよう心がけるとともに、子どもや親に安心感を与えられるよう手間をかけて安全なものを作ることにこだわっています。

これまで会社の木製玩具は、グッド・トイ（ＮＰＯ法人日本グッド・トイ委員会）やThe Wonder 500（経済産業省）の認定、グッドデザイン賞（(公財)日本デザイン振興会）の受賞など、高い評価を受けています。

○国内外に販売を拡大

会社の木製玩具は、第六九回全国植樹祭をはじめイベント等への出展を通じて知名度の向上を図っており、国内の百貨店など約一七〇店舗で販売されているほか、海外からも高く評価され、世界九カ国・地域で販売されています。

○おわりに

会社では、木に触れることで森林に親しむ子ども達を増やすとともに、木を使用することで林業の振興に貢献することとしており、これからも「日本の南会津から世界中の子ども達に楽しく遊んでもらえるおもちゃ」作りに励みたいと意気込みを話されていました。

読者の皆様も、世界に評価されている木製玩具を、お子さんやお孫さんにプレゼントしてはいかがでしょうか。

会津田島駅ステーションプラザで展示販売

ショールーム

グイード（上）（グッド・トイの認定）

ファーヴァ（グッドデザイン賞受賞）

木材市況

八月の原木市場への入荷状況は、前月比九パーセント増（前年比五パーセント増）の二〇、六三六立方メートルとなっている。

販売量は、前月比一二パーセント増（前年比三パーセント増）の二一、四四七立方メートルとなっている。

九月の価格は保合いとなっている。

素材の価格〈工場着価格〉（９月15日現在）

（単位：㎥当り千円）

区分		形量 径(cm)	形量 長さ(m)	材質	樹種	中通り地方 当月	中通り地方 前月差	会津地方 当月	会津地方 前月差	浜通り地方 当月	浜通り地方 前月差	県平均 当月	県平均 前月差
一般用材	小	5～9	4.00	並	スギ	9（8～10）	0	（0～0）		9（8～9）	0	9（8～10）	0
		10～14		並		12（11～12）	0	（0～0）		11（11～12）	0	12（11～12）	1
	中	14～22	3.00	並	スギ	12（11～15）	△1	11（11～11）	0	13（12～13）	0	12（11～15）	0
				並	ヒノキ	19（16～22）	0	15（15～15）	0	16（16～16）	0	17（15～22）	0
			6.00	並	スギ	16（15～17）	0	11（10～12）	0	16（16～16）	0	15（10～17）	0
				並	ヒノキ	30（25～35）	0	（0～0）		22（19~24）	0	26（19～35）	0
		20～28	3.65	並	スギ	12（12～12）	0	11（10～12）	0	12（12～13）	0	12（10～13）	0
			4.00	並		12（11～12）	0	11（11～11）	△1	12（12～13）	0	12（11～13）	0
			4.00	並	アカマツ	9（7～11）	0	（0～0）		9（9～9）	0	9（7～11）	0
			1.80	並		8（5～10）	0	（0～0）		8（8～8）	1	8（5～10）	1
外材	米材（定尺）	30以上	10.00	並	米ツガ	（0～0）		（0～0）		30（29～30）	0	30（29～30）	0
				並	米マツ	（0～0）		34（34～34）	0	29（28～29）	0	30（28～34）	△1
	北洋材（定尺）	28以下	3.80	並	エゾマツ	（0～0）		（0～0）		27（25～28）	0	27（25～28）	0
			4.00	並	アカマツ	（0～0）		（0～0）		25（25～25）	0	25（25～25）	0
				並	カラマツ	（0～0）		（0～0）		26（25～27）	0	26（25～27）	0
パルプ用材				並	マツ	7（7～7）	0	（0～0）		6（5～6）	0	6（5～7）	0
				並	広葉樹	9（9～9）	0	（0～0）		6（6～6）	0	8（6～9）	0

区分	形量 径(cm)	形量 長さ(m)	材質	樹種	会津共販 当月	会津共販 前月差	いわき 当月	いわき 前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	（0～0）		7（6～9）	0
	13～14		並	カラマツ	7（7～7）	0	8（7～8）	0
	16以上		並	カラマツ	14（13～14）	0	10（9～11）	0

注）１．前月差の△印は値下りを示す。
２．（ ）内は各地域の価格幅、（ ）外は各地域の平均的価格を示す。
３．一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。
４．各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

ふくしま東西南北

自然界の素晴らしさに感謝

南会津農林事務所　小林正光

原発事故に伴い県産作物への放射性物質の不安が広がっている頃、通勤中の車でラジオ番組からミツバチの生態の話が聞こえてきた。「ミツバチは身を守るため有害な物を見分ける能力に優れている。」それが日本ミツバチに興味を持つきっかけとなった。

日本ミツバチは、空洞となった立木の幹の中を好んで住処とし、行動範囲が狭く巣の周辺に咲く季節の花々から蜜を集め、集めた蜜は百花蜜として珍重されている。自然豊かな南会津地方の山間部では、春の新緑が始まる頃から林道脇の大きな木の根元に百花蜜を求め設置される日本ミツバチの捕獲箱がよく見られる。当時担当していた林道工事現場で話題にしたところ、地元の作業員の人から色々と捕獲の技を教えてもらうことができた。

私の自宅周辺は、農地に囲まれた里山で日本ミツバチを飼う光景は今まで一度も見たことがないが、平成二九年の春に半信半疑で作業員の人から教わった情報を基に自作した二つの捕獲箱とインターネットで取り寄せた日本ミツバチの誘因花として知られるミスマフェット（東洋蘭の改良種）を家軒下に設置してみた。五月の中旬になり庭先に色々な花が咲き始めた頃、一つの箱に日本ミツバチの出入りが見られ巣作りが始まった。自宅周辺に日本ミツバチの生息環境があることが確認できたことから、その後は安心して自家栽培している作物を食べることができている。

現在は、家族からは何時になったら蜂蜜が食べれるのかとの催促もあるが、何千匹ものミツバチが交互に蜜や花粉を集めて箱に戻ってくる行動を見ていると、横取りすることはとうていできず、近くの山に箱を移して飼っています。

はなしのひろば

3010（サンマルイチマル）

忘年会の時期である。３０１０（サンマルイチマル）（あるいは２０１０）運動をご存じだろうか。３０１０とは、宴会開始後三〇分と終了前十分は、おいしいお料理を食べ、食べ残しを減らす運動である。我が国では、まだ食べられるにも関らず廃棄される食品（食品ロス）が年間約六二一万ﾄﾝ（事業系三三九万ﾄﾝ、家庭系二八二万ﾄﾝ）、お金に換算すると十兆円を超えるという。そして食料廃棄率は、なんと世界一。そこで平成二八年十月に福井県で「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」が発足した。今や全国四七都道府県三二五市町村が会員となり、食品ロス対策を講じているが、この運動の窓口が各県市町村で違う。循環社会推進課、消費生活センター、ごみ減量課、くらしの相談課だったりする。廃棄された食品をゴミと扱うのか、リサイクルして活かすのか、その姿勢の違いだろう。西宮市では美化企画課があり、そこでダンボールコンポストで肥料をつくる取組を紹介している。また、愛知県では、食育ともからめ、郷土料理や食材を残さず料理する方法を紹介している。が、幼い頃は、食卓を囲みながら、もったいないから残さず食べなさい、と親から日常当たり前に言われ育ってきた。正直、今や全国規模の運動として展開されていることに驚きはあるが、この時期に関わらず一人一人が心がけしなければいけない。

そして、今月は、平成最後の年越し月である。今年の年越しには、それぞれの三〇年を振り返り、そしてこれからの十年を思ってみる。数字的には３０１０運動に匹敵するではないか。人生を四季に例えると私はもう白秋の時。私以上にも以下にもなれないのだから、せめて丁寧に生きたい、と深く思う年の瀬である。少しずつひとつの時代が終わろうとしている。どうぞ心穏やかな年越しを。

（都）

表紙の写真

「巨木伐採」

第15回ふくしま森林・林業写真コンクール優秀賞

受賞者　河野善次さん（福島市）

撮影場所：福島市松川町

編集　福島県
福島県内四森林管理署
福島県森林・林業・緑化協会
福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会
福島県農林種苗農業協同組合
ふくしま緑の森づくり公社
森林研究・整備機構福島水源林整備事務所
福島県森林・林業・緑化協会

発行　（福島市中町五番一八号県林業会館内）
水戸　典明

発行人　陽光社印刷株式会社

（定価　一〇八円）

お知らせコーナー

平成30年度「森の名手・名人」に選定

～ 南会津町　児山　文彦さん ～

木工教室での指導

国土緑化運動の一環として日本を代表する文化人等を結集し、社会一般が更に森林と向き合っていく気運を醸成することを目的に、平成14年11月、「もりのくに・にっぽん運動」が開始されました。

このリーディングプロジェクトとして、(公社)国土緑化推進機構では、森に関わる生業において、優れた技を極め、他の模範となっている達人を「森の名手・名人」として毎年選定を行っています。

本年度福島県からは、南会津町の児山文彦さんが加工部門（木工家具・玩具づくり）で選定され、平成30年10月20日(土)に開催された「第43回福島県林業祭」の「林業コンクール等表彰式」において、認定書が伝達されました。

平成30年度東北・北海道地区緑化推進協議会「緑化功労者」を受賞

～ 下郷町　星　隆雄さん ～

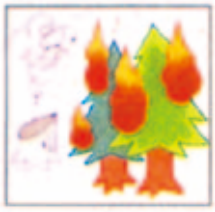
戸赤地区のヤマザクラ

平成30年10月４日(木)に福島市で開催された「平成30年度東北・北海道地区緑化推進協議会」において、下郷町の星　隆雄さんが緑化功労賞を受賞しました。

星さんは、「山桜を親しむ会」会長として、下郷町戸赤地区のヤマザクラの保護や里山風景の保全活動に尽力していることに加え、地域住民とともにヤマザクラの開花に併せた祭りの開催や、旧分校を使用した自然体験あそびの学校「やまざくら」を活用した宿泊・来訪者の増加など、豊かな山村資源を活用した様々な交流活動に積極的に取り組んでいることが高く評価されました。

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



1 火災
山火事で受けた損害

2 風害
暴風による根返り、幹折れなどの損害

3 水害
豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害

4 雪害
大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害

5 干害
乾燥による枯死などの損害

6 凍害
凍結、寒風などによる枯死などの損害

7 潮害
潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害

8 噴火災
火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》
竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》
◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255㈹
または最寄りの森林組合

イワフジのGPシリーズ

GP-35Bグラップルプロセッサ

IWAFUJI INDUSTRIAL CO., LTD.

傾斜地に対応した全旋回チルトプロセッサ

- 最大38度のチルト機能により傾斜地での作業性が大幅に向上
- 全旋回ローテータにより油圧ホースが絡む心配不要
- サイドカッター解除機能により曲がり材に対応
- 大容量油圧システムと強化型送りモータによるパワフルな送材

最新のGP-8コントローラを搭載

- 5.7インチカラー液晶ディスプレイによる多彩な情報表示
- 感圧式タッチパネル採用により操作性が向上
- A,B,C,Dの4コード毎に4種類、合計16種類の測長設定値
- 樹種を4種類登録でき、個別に材長調整値の設定が可能

新開発のスタッドローラ(オプション)

- 鉄輪の全周に装着された無数のスタッド（鋲）が材を強力に捉え、送りモータのトルクを伝えます。
- 特殊形状のスタッドを一体化したシンプルな構造で、メンテナンス

For the future with forest

イワフジ工業株式会社
www.iwafuji.co.jp

（北関東支店） 福島県郡山市八山田5-314
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168
（本社・工場） 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西5-1
（支　　店） 札幌・東北・北関東・関東・中部・関西・九州

林業福島 十二月号 通巻第六五二号
昭和四十二年二月二十四日第三種郵便物認可
平成三十年十二月一日発行（毎月一回一日発行）
監修 福島県農林水産部
編集発行人 水戸 典明
発行所 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
福島市中町五番十八号 県林業会館内
定価一〇八円
年間購読料一、九〇〇円（税・送料込）

レインボー薬品の薬剤と資材

緑地管理の未来をひらく

わたしたちは、人と自然の調和を考えながら、より良い緑の環境づくりを目指しています

松くい虫予防薬剤
ヤシマスミパイン乳剤
スミパインMC
マツグリーン液剤2
グリンガード・NEO

くん蒸剤
ヤシマNCS

くん蒸用生分解性シート
くん蒸与作シート

ハチ退治
ハチノックL（巣処理用スプレー）
ハチノックS（携帯用スプレー）

レインボー薬品株式会社
東京都台東区上野1-19-10
お問い合わせ　TEL. 03(6740)7777
平日 9:00～17:00（土・日・祝日は休み）

ZENOAH®
人と共に　緑と共に

For Professional
BCZ275GW-DC
排気量 25.4cc

For Professional
GZ3950EZ
排気量 39.1cc
GZ4350EZ
排気量 43.1cc

ZHM1550RR
刈幅：1500mm　出力：27.5kW

SR3100
破砕径：200mm　出力：18.4kW

ハスクバーナ・ゼノア㈱ 福島県代理店
(有) うねめ林業機械
TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108-1